

個別課題:がんの認定看護師ががん患者の告知に同席する件数増
(令和元年7月1日～12月末日)

施設名:	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
43 社会医療法人 愛仁会 千船病院	<p>がんの認定看護師(緩和ケア・がん化学療法看護認定看護師)が外来、入院におけるがん患者の告知に同席し、専門的な知識をもって意思決定支援を行う。 また告知時に抱えている心と体の痛みに対して介入する。 介入件数は、2018年度は15件であったが、月に5件、6ヶ月間で30件の同席を目指す。 (認定看護師は2名とも専従ではないため、前年度の実績を踏まえこの件数とした)</p>	<p>①がん告知時の同席の目的と同席できる日時がわかるように医師や外来・病棟看護師へ紙面を作成し伝達する。 ②IC前に主治医より患者情報を得る ③同席時、認定看護師は医師のIC後に個別でICの理解度、また抱える心と体の痛みに対して問診を行い、カルテに記載する。 ・入院中の患者に対し、ケア介入が必要な事項があれば直接病棟看護師に申し送る(できるだけ病棟看護師にも同席を依頼する)。 ・外来の患者は患者の入院予定があれば電子カルテの掲示板へ告知同席時の記録を参照してもらえるようにメッセージを残す</p>	<p>6ヶ月で入院患者17件、外来患者4件の告知同席を実施した。前年度は年間で15件であったため、関係者へ少しずつ浸透していると判断する。 外来で同席した患者については、同席し面談した内容を病棟スタッフが分かるようにカルテに記載し、また入院後も介入が必要な患者に関しては、入院後に緩和ケア介入依頼を出すようにカルテに記載した。 実際に入院後には病棟スタッフより緩和ケア介入以来があり、入院と外来を継ぐことができている。患者さんからも、知った顔が来てくれて安心したという言葉があった。</p>	<p>がんに関する認定看護師が2名いるが専従ではなく、同席できる時間がかなり限られていた。 4月より緩和ケア認定看護師が専従となるため、同席枠の変更、また関係者への再伝達を行い、同席件数を増やしていく。</p>